

# 「若手研究者が見た災害と大震災への備え」

近い将来必ず発生すると言われている大地震に備えるためには、これまでに経験した災害からいかに多くのことを学ぶかが重要です。今回のトラムでは、若手研究者が実際に見たり経験した震災現場や防災の取り組みを紹介するとともに、そこから見えてくる大震災への備え方を提言します。

日時	担当講師	講義テーマ・概要
2/4(土) 14:00 ~ 15:30	第1回 建築・都市システム学系 准教授 真田靖士	「 <b>来たるべき大地震に備えていただきたいこと - 建築構造学の視点から-</b> 」 東日本大震災を含む過去の震災事例から、建築の耐震性の重要性を再確認するとともに、来たるべき大震災に備えて建築の耐震性に関わる基礎知識を中心に話題提供します。
2/11(土) 14:00 ~ 15:30	第2回 建築・都市システム学系 助教 細野康代	「 <b>地盤を知る - 地盤災害から学ぶこと-</b> 」 災害を受けた時、地盤はすぐに起きる現象と時間が経ってから生じる現象があります。 今年起きた地震と被害事例をもとに、地盤の現象についてお話しします。
2/18(土) 14:00 ~ 15:30	第3回 建築・都市システム学系 准教授 加藤 茂	「 <b>地震と津波 - 津波災害から身を守るための基礎知識-</b> 」 災害から身を守るためには、災害を引き起こす自然現象を知ることが大切です。地震の発生から津波の発生・伝播、海岸や河川への来襲のプロセスについてお話しします。
2/26(日) 14:00 ~ 15:30	第4回 建築・都市システム学系 准教授 増田幸宏	「 <b>事業継続(Business Continuity)の取組みとは - 災害時に重要業務拠点や生産拠点の機能を維持するために-</b> 」 災害に強い組織を構築するための方法として事業継続(Business Continuity)の取組みが注目されています。そのポイントとなる、災害時に組織が備えるべき「しなやかな強さ」についての考え方を身近な事例等を通してご紹介します。

【会場】豊橋技術科学大学A1棟101講義室

【受講料】無料

【対象】どなたでも

【定員】各回80名

【アクセス】バス：豊橋駅東口2番のりばから、豊鉄バス豊橋技科大線に乗車、技科大前で下車  
自家用車：駐車場あり



●問い合わせ先：豊橋市役所生涯学習課 (Tel: 0532-51-2849) または豊橋技術科学大学総務課地域連携係 (Tel: 0532-44-6569) まで

●申込み先：平成24年1月25日(水)までに豊橋市役所生涯学習課に電話申込み (Tel: 0532-51-2849)